



新堀保育園でラ・フランス贈呈式 地元の保育園にプレゼント



ラ・フランスをおいしそうに頬張る園児

花巻地域果樹生産部会石鳥谷支部は12月12日、新堀保育園にラ・フランスを贈りました。

同保育園にJAの小森田裕之理事や藤原敬悦副支部長、生産者の小原和夫さんなどが訪れました。小森田理事は「みんなに食べてもらい、おいしいなと思ってほしくて持ってきました」とあいさつ。藤原副支部長と小原さんがラ・フランスを代表園児に手渡し、おやつ時間に全員で食べると、「おいしい」と笑顔が溢れました。

花巻市石鳥谷町は、同市内のラ・フランス生産量の8割を占め、現在は35人で栽培。今年度は約640個を同町内の保育園5カ所へ贈りました。



「銀河のしずく」でおにぎり作り やさわこども園の園児が体験



川村さんに教わりながらおにぎりを握る園児

JAや花巻市、県などで組織する花巻市農業振興対策本部は11月27日、やさわこども園(同市矢沢)で県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」を使ったおにぎり教室を初めて開きました。

教室は、食育の推進と「銀河のしずく」の認知度向上を目的に開きました。4、5歳児26人が「生産者マイスター」の川村茂樹さんから米作りについて説明を聞いたほか、もみ・玄米・白米の3種を触ったり、匂いをかぐなどして違いを見比べました。

おにぎりは園児たちが米ときから行い、「あつつい」などと歓声をあげながら1人2個ずつ握り、出来上がったおにぎりを給食の時間に頬張りました。

地元のお米と豚肉を食べて全国勝利を! 全国大会出場校に贈呈

佐藤主将は「ベスト8以上の目標に向け、感謝を胸に一戦一戦を大事に戦いたい」と決意を述べました。

また、12月12日には遠野高校(遠野市六日町)で贈呈式を開き、「第97回全国高校サッカー選手権大会」



黒沢尻工業高校ラグビー部に贈呈



遠野高校サッカー部に贈呈

JAいわて花巻とJA全農いわては、ラグビーとサッカーの全国大会に県代表として出場する高校に、地元産の農畜産物と金一封を贈り、全国での健闘を祈りました。

12月10日には本店(花巻市野田)で贈呈式を開き、「第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会」に出場する黒沢尻工業高校に北上産米「ひとめぼれ」120kgと県産豚肉1頭分、金一封を贈呈。JAの阿部勝昭組合長とJA全農いわての高橋司副本部長が佐藤稜真主将に目録を手渡しました。

阿部組合長は「お米を食べて、たくましく試合に臨んでほしい」、高橋副本部長は「ラグビー人気に火をつけるような活躍に期待している」と激励。

に出場する同校に遠野市産米「あきたこまち」120kgと県産豚肉1頭分、金一封を贈りました。

JAの阿部組合長とJA全農いわての高橋副本部長が太田竜雅主将に目録を手渡し、阿部組合長は「地元産の食べ慣れたお米を食べ、体力を付けて頑張ってもらいたい」と声援を送りました。高橋副本部長は「県内チームの思いも背負いながら、優勝を目指して頑張ってもらいたい」と激励し、太田主将は「応援してくださる方々への感謝を忘れずにベストを尽くして戦い、ベスト8以上を目指す」と意気込みました。

鉛筆一本で描く迫力の世界 遠野支店で「米田康一氏鉛筆画ギャラリー」を開催中



窓口の待ち時間に、来店者の目を楽しませている鉛筆画

遠野支店は12月から、支店店舗内(遠野市松崎町)で「米田康一氏鉛筆画ギャラリー」を開いています。

鉛筆画は、同市宮守町で「じんぎすかん食堂よねたや」を営む米田さんが提供。市内の名所や肖像画、動物などが、鉛筆で繊細に描かれた約20点を展示しています。一見、白黒写真のように思える鉛筆画を、来店者は一点一点目を凝らして見るなどし、楽しんでいきます。

長澤敏秀支店長は「地域に密着し、組合員や地域住民に気軽に立ち寄っていただける支店作りを目指す」と話しました。

この企画は、1月31日まで開いています。

スマート農業の普及拡大目指す ドローンによる農薬散布実演会



飛行前にJA全農の職員から機体の説明を聞く参加者たち

JAやJA全農は11月28日、花巻市の水稲ほ場で農薬空中散布機「ドローン」を使った防除実演会を開きました。

生産者やJA職員など約50人が参加し、DJI社製とナイルワークス社製の2機を使ってオペレーターが実演しました。無人ヘリコプターと比較すると、モーターを使用しているため騒音が発生しにくく、1回のフライトで1haの散布が可能。操作の仕方や注意点が、必要経費なども聞き、農作業効率化に向けての新たな技術に参加者たちは真剣に耳を傾けました。

JA担当者は「実演会を開くことによりスマート農業の普及拡大を目指したい」と話しました。